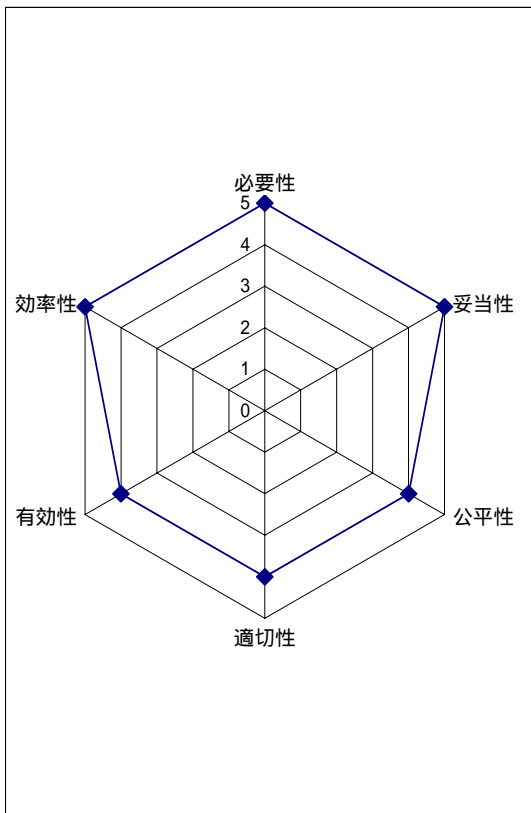


事務事業名	公達地区雨水排水整備事業	担当部局	市長部局 都市建設部
基本目標	美しいゆとりある快適環境と景観づくり(環境・都市基盤)	担当課名	土木課
施策体系	安全で快適な暮らしづくり(生活道路整備)	担当係名	維持係
施策	身近な道路の整備を進める		

1. 事業内容

事業本来の目的と具体的内容	雨水排水施設の整備として、道路用側溝を道路センターに布設することにより、浸水地域の解消と道路維持管理の向上を目的とし、公達地区の快適環境を図る。		
事業の期間(開始/終了)	_____年 月 / _____年 9月		
根拠法令、条例、規則など	道路法、道路構造令		
事業が対象としている人(モノ)	公達地区内市道		
具体的な活動内容	全体計画図に基づき、現場測量		
	設計図書の作製		
	工事の発注		
	工事の監督		
事業の成果	現地詳細測量の結果、計画図にとられず経済性を考慮し設計した。		
	発注時期が遅れた。		

2. 事業の評価



項目	説明
必要性	5 ますます必要性は高くなっている
	浸水地域は残っており、住民にとっての生活環境や一般通行の安全性を考慮すると、緊急性は高くなっている。
妥当性	5 行政以外にはできない事業である
	道路管理者の責務である。
公平性	4 目的とした対象者に対しては、概ね広く便益を提供している
	公達地区と限定された地域ではあるが、市道認定道路の雨水排水事業であるので偏りは無い。
適切性	4 現在のやり方(手段)が一般的であり、特に問題はない
	計画的に進めており、特に問題はない。
有効性	4 概ね目標水準に達している
	浸水箇所が減っており、目標どおりである。
効率性	5 効率は相当高められている(相当なコスト低減が図られている)
	当箇所のような住宅密集地には、一般的に両側側溝が基本となるが、それをセンター1列として対応していることは、側溝布設費用は単純に1/2の経費節減を果たしている。

総合評価	公共下水道や農業集落排水事業といった生活排水整備のない地域にとっても、本事業は併せて有効であり、今後受益者負担を考慮しつつ公達地区に限らず、拡大検討すべき事業である。
------	---

3. 今後の事業の方向性

所属長判断	事業の方向性判断	短期的方向	終了	中長期的方向	終了
	説明	公達地区雨水排水整備については、地域住民の生活環境の改善を図るため、年次計画で整備している。平成18年度で雨水排水整備は完了する。			
決定権者判断	決定内容	終了			
	説明	道路管理者の責務として、早期完成を目指す。			